

事務事業名		個人市民税特別徴収一斉指定事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	市民税課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	市民税係	担当課長名	片野 憲	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 市税の収納率の維持・向上					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2824	一般	2	2	2	個人市民税特別徴収一斉指定事務費					
事業計画	単年度のみ	事業期間	H26年度		根拠法令等	地方税法、租税特別措置法、佐野市税条例					
					事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		義務的事業		
						実施方法		直営			
						事業分類		賦課・収納事務			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 27年度から給与所得に係る個人市民税の特別徴収を県下一斉に指定するため、事業所指定番号・賦課資料の整理、事業所や納税義務者への周知等を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 給与所得者個人には、広報及び市ホームページによるほか、6月の当初納税通知書送付時に県が作成したリーフレットを同封し周知した。 事業所へは、既に特別徴収を実施している事業所には5月の税額通知書送付時に県が作成したリーフレットを同封し協力を求め、特別徴収を実施していない事業所の内、2,898の事業所には9月に指定予告通知書を送付した。 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			給与所得者のうち普通徴収の納税義務者	人		14,935				
			給報を提出した特徴未実施事業所	人		5,473				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 所得税を源泉徴収している事業者で従業員の住民税を特別徴収していない事業所 			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			給報を提出した特徴未実施事業所	件		5,473				
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 県が作成したアクションプランによる普通徴収を認めるもの以外は特徴とする。 			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			指定予告通知書の発送	件		2,898				
			個人市民税収納率(現年分)	%		98.4				
			個人市民税収納済額(現年分)	円		5,353,855				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 十分に歳入が確保されている。 			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			収納率(現年度課税分)	%		98.9				
				円						

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円		11						
	一般財源	千円		3,261						
	事業費計(A)	千円	0	3,272	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					社会保険料	364				
					賃金	2,513				
				消耗品費	7					
				通信運搬費	366					
		電算委託料	22							
人件費	人	2								
のべ業務時間	時間	534								
人件費計(B)	千円	0	2,104	0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	5,376	0	0	0				

事務事業名	個人市民税特別徴収一斉指定事務	担当部	総合政策部	担当課	市民税課	担当係	市民税係
-------	-----------------	-----	-------	-----	------	-----	------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	地方税法の規定により事業者の義務とされたが、事業者の負担となることから事実上普通徴収が容認されてきた。H19年の税源移譲により、個人住民税の滞納額が急増しその対策が急務となったほか、H24年度の県民税の収納率が全国最下位になったため、県主導で一斉指定を推進することになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	全国的な取り組みが実施されており、実施時期の決定や検討中を含めると現在43都道府県に及ぶ。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	電算の処理環境が未整備であること、また、パートやアルバイトといった不定期雇用者については特徴が難しいといった意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	個人市民税が、市の健全な行財政運営を維持するための自主財源となっている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	行政サービスを行うための自主財源の確保のため、地方税法、市税条例に則して実施している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	地方税法、市税条例に則して行っており、妥当。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	一斉指定の予告通知を送付したことにより、特徴での給報提出が増加した。今後は、電算処理環境の未整備事業所への切り替え指導や、近隣都道府県の一斉指定実施により複数自治体に所在する事業所の特徴切り替えが進めば、特徴率がさらに増加する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事務合理化により人件費の削減に取り組んできている。今後の削減は困難。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	地方税法に則って推進を図るものであり、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
27年度一斉指定のため26年度で終了。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																							
	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			